

## 時計のある人生

ケネディが冷戦の最中にベルリンを訪問した時に贈られた秀逸な卓上時計は、悲劇の米国大統領が熱望していた平和と統一を象徴するものであった。

文 ジョン・リアドン 翻訳 小金井 良夫



時は1963年6月26日。就任から2年半になろうとしていたジョン・F・ケネディ米国大統領は、公式訪問のため西ベルリンに降り立った。当時のケネディは、エネルギーで自由主義的な理想に満ちあふれた、澁刺たる若者らしい外見にもかかわらず、すでに熟達した外交官のカリスマ性と貫禄を身につけていた。ハーバード

大学卒業後、海軍に入隊、第二次世界大戦中は海軍大尉として勤務した。43歳で米国史上最年少の大統領に就任。振り返れば、ケネディがその痛ましくも短い3年間の任期中、いかに偉大な事業を成し遂げたかを知って驚かされる。1963年、世界は狂乱の渦中にあつた。前年には、ソ連がキューバに核ミサイルを配備しようとしたことから米国は海上封鎖を発動、世界は一触即発の危機にさらされる。結局ソ連は計画を

断念したが、今度はベルリンが東西対立の焦点となつた。戦後、ドイツ全土と同じく、首都ベルリンは東側と西側に分割統治された。ソ連最高指導者フルシチョフは、広大な東ドイツ領土の奥深くに孤立する西ベルリンを「喉に刺さつた骨」と呼んだ。1961年8月、ソ連の支援を受けた東ドイツ政府が西ベルリンを有刺鉄線で封鎖したため、緊張は高まった。ケネディのベルリン訪問までに境界線は補強され、コンクリートの壁となつた。こうしてコスモポリタンな西ベルリンと暗い東ベルリンは分断され、家族や友人同士も行き来はできなくなった。

東西軍拡競争を縮小する交渉が続けられていたため、ケネディの演説起草者たちは、はじめ当たり障りのない内容を考えていたという。ジョン・F・ケネディ・ライブラリー&ミュージアムの元館長、トム・パトナム氏は回想する。「西ドイツ国民によるケネディの歓待ぶりは圧倒的でしたが、西ベルリン訪問の際の熱狂とは比較にならないものでした。ケネディは市民の勇氣と、自由独立への希求に深く感動しました。そして演説の

朝、「この草稿を読むことはできない」と言いました。草稿には迫力がなく、公衆の感情とかけ離れていたのです。ケネディは自ら草稿を書き始めた。登壇する直前にケネディは、昔、「私はローマ市民です」と名乗るのが最高の誇りであつたことを思い出した。彼はこれをベルリンに置き換えて発音を書き留め、ドイツ語で「私はベルリン市民です」と言つたのである。これはケネディの最も重要な演説のひとつとなつた。「自由には多くの困難があり、民主主義は完璧ではありません。しかし私たちは、これまで壁を築いて国民を閉じ込める必要に駆られたことは、決してなかつたのです」。翌日、市長ウィリー・ブランドは、西ベルリン市民を代表して大統領に秀逸な卓上時計を贈つた。ケネディの最大の願いは世界平和であり、ワシントン、モスクワ、ベルリン時間を表示するこの時計は、その願いを象徴していた。ベルリンのパテックフィリップ販売店オーナー、ハインツ・ウィッパーフ氏は、マルチャイムゾーン表示の電子クロックを創作するよう、パテックフィリップに提案していた。パテック

フィリップが完成した時計は、マスターピースにふさわしいものであつた。シンメトリックなデザインは、視覚的にだけでなく思想的にも美しい。世界二大強国の首都と、やがて平和の要となる都市を含んでいる。これは未来を予見したかのような贈り物となつた。その数日前、ペンタゴンとクレムリンの間に著名なホットラインを創設する合意が米ソ間で交わされていた。この時計のお蔭で、ケネディが夜中にフルシチョフを起す心配は

ジョン・F・ケネディ(上)は、1963年に西ベルリンを公式訪問した際にケネディ・クロック(左)を贈られた。時計のデザインは、ケネディの海軍軍人としての経歴を想起させるマリン・クロノメーターに似ている。3つの文字盤がモスクワ、ワシントン、ベルリン時間を表示する。オリジナルはボストンのジョン・F・ケネディ・ライブラリー&ミュージアム所蔵。プロトタイプをジュネーブのパテック・フィリップ・ミュージアムで見ることが出来る。

なくならしたのである。大統領に宛てた感動的な書簡の中で、ウィッパーフ氏はケネディを「ベルリンの同胞」と呼び、時計の仕組みを説明している。彼は1964年5月に交換用電池を送る計画であつたが、その時すでにケネディは世を去つていた。だが「この都市がひとつになる日は来る」という信念は実現した。◆「パテック・フィリップ マガジン・エクストラ」(patek.com/owners)にて、この記事の特別関連コンテンツを閲覧いただけます。

